

2022 現業・公企統一闘争（第1次闘争）

6.3 全国統一行動に結集を！

「住民の未来に貢献できる、自治体責任による
質の高い公共サービスの確立」にむけて！

「私たちは、最前線で地
域・住民のみなさんを支えて
います」

現業・公企職員は、ごみの収集
小・中学校や病院などの給食調理
公園や道路の維持管理、さらに、
水道事業において、生活に欠かせ
ないライフラインを守るなどの公
共サービスを担っている。

新型コロナウイルス感染症の収
束が依然として見えない中、安心
で安全な住民生活を守るため、感
染の危機の中でも、エッセンシャ
ルワーカーとしての自負のもと、
現場の最前線で業務をおこなって
きた。

さらに、コロナ禍において、学
校休校期間中の子供たちに対する
食事の提供や手作りマスクの作成
なども行ってきた。

近年、地震や水害など災害が多
発しているが、現業・公企職員は
専門的な知識や技術を持ってお

り、地域も熟知していることから
災害時でも大きな役割を果たす。
感染症流行時や災害時、いつでも
公共サービスを守り続ける職員、
それが現業・公企職員である。

このように、公共サービスに必
要不可欠な存在であるにも関わら
ず、この間の人員削減により、自
治体では、現業職員が持つ、「現
場力」を失い、住民が求める、安
心・安全な公共サービス提供にも
支障をきたしている現状にある。



2022 現業・公企統一闘争勝利！総決起集会 (5.7)

「すべての組合員の力を
集め、前へ、前へ」

2022 現業・公企統一闘争（第
一次闘争）は6月3日の統一行動
基準日をヤマ場に、要求書提出か
ら交渉実施と、全国一斉に取り組
みが展開されていく。現業・公企
職場における人員不足など山積す
る課題の解決と安心して働き続け
られる職場づくりに向けて、現場
からの声を集め、取り組んでいこ
う。

県本部は5月7日に、統一闘争
勝利に向けた総決起集会を開催
し、産別闘争として全力で闘う意
思統一をはかった。今後、地域の
住民が安心して暮らしていくため
に必要な公共サービスを提供する
ため、闘争の基本的目標を「住民
の未来に貢献できる、自治体責任
による質の高い公共サービスの確
立」とし、取り組むこともあわせ
て確認した。

今こそ、失われた現場力の回復
に向けて、現業・公企職場の直営
堅持・人員確保を最大の柱に、す
べての単組、すべての組合員の参
加のもと、統一行動に結集しよう。



6月 は 男 女 平 等 推 進 月 間



ジェンダー平等、多様性を推進しよう



2021年の男女平等・労働安全衛生集会

世界経済フォーラム（WEF）が各国の社会進出における男女格差を示す指標として毎年公表している「ジェンダーギャップ指数」において、2021年の日本の順位は156カ国中120位（2020年121位、2019年110位、2018年114位）と史上最低の結果だった昨年より順位を上げたものの、先進国G7の中では、引き続き最下位でした。

本部女性部が実施した2019年「年休・生休アンケート」によると、「ハラスメントを受けた」が正規職員では14%、非正規職員では10%となっています。男女平等・WLBチェックリストを活用して職場点検を行い、要求書に反映させましょう。

厚生労働省の調査によると、2017年には、16.7人に1人の割合で生殖医療による新生児が誕生し、全出生児に占める生殖補助医療による出生児の割合は、6%に増加しています。自治労では不妊治療に関する休暇制度の確立に向けて取り組んできました。不妊治療休暇を5～12日の特別休暇として制度化できている単組もあります。仕事と治療の両立において、要求をすすめていきましょう。

1985年6月に男女雇用機会均等法が公布されたことを記念して、厚生労働省が翌年より6月を「男女雇用機会均等月間」と設定、内閣府は毎年6月23日～29日の1週間を「男女共同参画週間」に設定しています。連合・自治労は6月に「男女平等月間」として、各種取り組みを行います。県本部は今後、労働安全衛生とあわせて集会を開催する予定です。

日程決まり次第お知らせいたしますので、各単組からの結集をお願いします。

ジェンダーギャップ指数 (2021) 上位国及び主な国の順位

順位	国名	値	前年値	前年からの 順位変動
1	アイスランド	0.892	0.877	-
2	フィンランド	0.861	0.832	1
3	ノルウェー	0.849	0.842	-1
4	ニュージーランド	0.840	0.799	2
5	スウェーデン	0.823	0.820	-1
11	ドイツ	0.796	0.787	-1
16	フランス	0.784	0.781	-1
23	英国	0.775	0.767	-2
24	カナダ	0.772	0.772	-5
30	米国	0.763	0.724	23
63	イタリア	0.721	0.707	13
79	タイ	0.710	0.708	-4
81	ロシア	0.708	0.706	-
87	ベトナム	0.701	0.700	-
101	インドネシア	0.688	0.700	-16
102	韓国	0.687	0.672	6
107	中国	0.682	0.676	-1
119	アングラ	0.657	0.660	-1
120	日本	0.656	0.652	1
121	シエラレオネ	0.655	0.668	-10

